

第2回 江戸川区移動等円滑化促進方針策定協議会 議事要旨

開催日時

令和4年2月7日(月) 13時30分～15時

委員出席者

18名

外国人向けアンケート及び障害者等を支援する団体・専門職を対象としたアンケート調査結果の報告について事務局より説明

【主な意見】

- ・計画策定にあたっては、より広く当事者の方の意見を聴くことができればよいと思う。
- ・バリアフリーに関して満足度が高いのは、近年再開発された駅である。満足度が低いのは、駅の周辺が密集した住宅地で、多くの高齢者が住んでいるところだと感じる。
- ・駅でも北口と南口で大きく差がある。例えば、小岩駅では、南口は再開発事業中であるが、北口は整備されていても場所によっては障害者の移動が大変だろうという箇所も散見される。できるだけ現場を細かく見ることが重要だと思う。
- ・近年、外国人は増加しており、コミュニケーションのために外国語を学ぶことが必要だと感じている。アンケート結果でも、医療機関で外国語が通じないという意見があった。「合理的配慮」という視点からも、歩み寄れる展開ができると良い。
- ・防災面では、高齢者は早期に避難することが必要となる。避難所は江戸川区ならではの課題・特徴があり、避難の場所、方法を念頭においてどのようなまちづくりにしていくか検討していけるとよい。

移動等円滑化促進方針及び移動等円滑化促進地区について事務局・コンサルタントより説明

【主な意見】

- ・移動等円滑化促進地区の選定にあたり、高齢者や外国人の居住人口のデータだけでなく、障害者の居住人口も考慮することは必要だと思う。
- ・船堀駅周辺地区を移動等円滑化促進地区に載せているが、船堀駅周辺は、新庁舎移転に伴い必然的に周辺も合わせて整備されるのではないかとと思われる。
- ・促進地区の設定は、基本構想の中での重点整備地区を設定することとは異なり、すぐに事業化ができない地区でも、バリアフリー化の必要があれば決めることができるため、前向きに検討していく必要がある。
- ・アンケート結果で、船堀、小岩、西葛西駅はバリアフリーの満足度が相対的に高い地区となっているが、不満の意見が出ている駅周辺地区も含めて検討が必要だと思う。